

大学番号 42

注3

設置年度 平成 31年度
計画の区分： 研究科の設置
注1

共同設置（事前伺い）

岐阜大学大学院 共同獣医学研究科
鳥取大学大学院 共同獣医学研究科
注2

【共同設置】設置に係る設置計画履行状況報告書

岐阜大学：国立大学法人東海国立大学機構
鳥取大学：国立大学法人鳥取大学
令和3年5月1日現在

岐阜大学：作成担当者 担当部局（課）名	管理部企画室
職名・氏名	企画室長 山田 祐樹
電話番号 （夜間） e-mail	058-293-3288 058-230-1111 gjga03002@jim.gifu-u.ac.jp
鳥取大学：作成担当者 担当部局（課）名	総務企画部総務企画課
職名・氏名	副課長 大塚 卓弥
電話番号 （夜間） e-mail	0857-31-6745 0857-31-6745 ma-seisaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	29
6. 留意事項等に対する履行状況等	70
7. その他全般的事項	72

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者、大学名

国立大学法人東海国立大学機構：岐阜大学

国立大学法人鳥取大学：鳥取大学

(2) 調査対象大学等の位置

(岐阜大学)

〒501-1193

岐阜県岐阜市柳戸1番1

(鳥取大学)

〒680-8550

鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

大学名	職名	設置時	変更状況	備考
岐阜大学	機構長		マツオ セイイチ 松尾 清一 令和2年4月	名古屋大学との法人統合により東海国立大学機構が令和2年4月1日に設置されたため(2)
	学長	モリワキ ヒサタカ 森脇 久隆 平成26年4月		
	研究科長	ウンノ トシヒロ 海野 年弘 平成31年4月		
	専攻長	マエダ サダトシ 前田 貞俊 平成31年4月	ワタナベ カズヒロ 渡邊 一弘 令和2年4月	任期満了により令和2年4月1日に変更(2)
鳥取大学	学長	ナカジマ ヒロミツ 中島 廣光 平成31年4月		
	研究科長	ヒカサ ヨシアキ 日笠 喜朗 平成31年4月	ヤマグチ ツヨシ 山口 剛士 令和3年4月	任期満了により令和3年4月1日に変更(3)
	専攻長	タケウチ タカシ 竹内 崇 平成31年4月	モリタ タケヒト 森田 剛仁 令和3年4月	任期満了により令和3年4月1日に変更(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
 ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和3年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

大学名	調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
			修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
岐阜大学	大学院 共同獣医学研究科	獣医学関係	4年	6人	年次人	24人	新規入学者を募集 中	
	博士(獣医学)							
鳥取大学	大学院 共同獣医学研究科	獣医学関係	4年	5人	年次人	20人	新規入学者を募集 中	
	博士(獣医学)							

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

大学名	対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均 入学定員超過率	備考	
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
岐阜大学	A 入学定員	() []	() []	() []	() []	6人 [-]	6人 [-]	6人 [-]	6人 [-]	6人 [-]	6人 [-]	0.94倍	-	令和2年度入学予定であった留学生1名について、コロナウイルスの影響により、令和3年度春季に入学時期を変更した。	
	志願者数	() []	() []	() []	() []	6 [1]	2 [1]	3 [1]	3 [1]	(-) [-]	6 [-]				() []
	受験者数	() []	() []	() []	() []	6 [1]	2 [1]	3 [1]	2 [1]	(-) [-]	6 [-]				() []
	合格者数	() []	() []	() []	() []	5 [1]	2 [1]	2 [1]	2 [1]	(-) [-]	6 [-]				() []
	B 入学者数	() []	() []	() []	() []	5 [1]	2 [1]	2 [1]	1 [-]	(-) [-]	7 [1]				() []
	入学定員超過率 B/A					1.16		0.50		1.16					
鳥取大学	A 入学定員	() []	() []	() []	() []	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	5 [-]	1.00倍	-		
	志願者数	() []	() []	() []	() []	(-) [-]	() [1]	(-) [2]	() [2]	(-) [-]	3 [-]				() []
	受験者数	() []	() []	() []	() []	(-) [-]	() [1]	(-) [2]	() [2]	(-) [-]	3 [-]				() []
	合格者数	() []	() []	() []	() []	(-) [-]	() [1]	(-) [2]	() [2]	(-) [-]	3 [-]				() []
	B 入学者数	() []	() []	() []	() []	(-) [-]	() [1]	(-) [2]	() [2]	(-) [-]	3 [-]				() []
	入学定員超過率 B/A					1.40		1.00		0.60					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、**編入学の状況について外数で記入**してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、() 書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **転入学生は記入しないでください。**
 - ・ [] 内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。**春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和3年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

大学名	対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
岐阜大学	1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 (-)	2 (-)	2 (-)	1 (-)	7 (-)	1 (-)	
	2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 (-)	2 (-)	2 (-)	2 (-)	
	3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 (-)	0 (-)	
	4年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()			
	計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	7 (-)	10 (-)	17 (-)		
鳥取大学	1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	7 (-)	0 (-)	5 (-)	0 (-)	3 (-)	0 (-)	
	2年次			[] ()	[] ()			7 (-)	0 (-)	5 (-)	0 (-)	
	3年次							[] ()	[] ()	7 (-)	0 (-)	
	4年次					[] ()	[] ()					
	計			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	7 (-)	12 (-)	15 (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、**留学生の状況について内数で記入**してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ () 内には、**留年者の状況について、内数で記入**してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。**春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

大学名	区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
				入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
	岐阜大学						
平成29年度	人	人	人	平成29年度	人	人	
				平成30年度	人	人	
令和元年度	7人	0人	0人	平成29年度	人	人	
				平成30年度	人	人	
				令和元年度	0人	0人	
令和2年度	10人	0人	0人	平成29年度	人	人	
				平成30年度	人	人	
				令和元年度	0人	0人	
				令和2年度	0人	0人	
令和3年度	17人	0人	0人	平成29年度	人	人	
				平成30年度	人	人	
				令和元年度	0人	0人	
				令和2年度	0人	0人	
				令和3年度	0人	0人	
合計			0人		0人	0人	
鳥取大学							
平成29年度	人	人	人	平成29年度	人	人	
				平成30年度	人	人	
令和元年度	7人	0人	0人	平成29年度	人	人	
				平成30年度	人	人	
				令和元年度	0人	0人	
令和2年度	12人	0人	0人	平成29年度	人	人	
				平成30年度	人	人	
				令和元年度	0人	0人	
				令和2年度	0人	0人	
令和3年度	15人	0人	0人	平成29年度	人	人	
				平成30年度	人	人	
				令和元年度	0人	0人	
				令和2年度	0人	0人	
				令和3年度	0人	0人	
合計			0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

(5) 一⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

<岐阜大学>

【平成29年度】			
平成29年度の退学者数(a)	=	$\frac{0}{0}$	= <input type="text" value="#DIV/0!"/> %
平成29年度の在学者数(b)			
【平成30年度】			
平成30年度の退学者数(a)	=	$\frac{0}{0}$	= <input type="text" value="#DIV/0!"/> %
平成30年度の在学者数(b)			
【令和元年度】			
令和元年度の退学者数(a)	=	$\frac{0}{7}$	= <input type="text" value="0"/> %
令和元年度の在学者数(b)			
【令和2年度】			
令和2年度の退学者数(a)	=	$\frac{0}{10}$	= <input type="text" value="0"/> %
令和2年度の在学者数(b)			
【令和3年度】			
令和3年度の退学者数(a)	=	$\frac{0}{17}$	= <input type="text" value="0"/> %
令和3年度の在学者数(b)			

<鳥取大学>

【平成29年度】			
平成29年度の退学者数(a)	=	$\frac{0}{0}$	= <input type="text" value="#DIV/0!"/> %
平成29年度の在学者数(b)			
【平成30年度】			
平成30年度の退学者数(a)	=	$\frac{0}{0}$	= <input type="text" value="#DIV/0!"/> %
平成30年度の在学者数(b)			
【令和元年度】			
令和元年度の退学者数(a)	=	$\frac{0}{7}$	= <input type="text" value="0"/> %
令和元年度の在学者数(b)			
【令和2年度】			
令和2年度の退学者数(a)	=	$\frac{0}{12}$	= <input type="text" value="0"/> %
令和2年度の在学者数(b)			
【令和3年度】			
令和3年度の退学者数(a)	=	$\frac{0}{15}$	= <input type="text" value="0"/> %
令和3年度の在学者数(b)			

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・ 山添教授退職の理由により、「小動物外科学基盤特別講義」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ 山添教授退職の理由により、「難病治療・創薬特別講義I」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・ 山添教授退職の理由により、「獣医外科・麻酔学特別講義」、「獣医外科・麻酔学特別演習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「准教授2」に変更。
- ・ 山添教授及び大屋准教授退職の理由により、「プログレスセミナーI」、「プログレスセミナーII」の専任教員等の配置を「教授13、准教授13」から「教授12、准教授12」に変更。
- ・ 大屋准教授退職の理由により、「病原微生物学基盤特別講義」、「病原微生物学基盤特別演習」、「病原微生物学基盤特別実験」、「獣医感染症学特別演習」、「獣医感染症学特別実験」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 大屋准教授退職の理由により、「獣医感染症学特別講義」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 大屋准教授退職の理由により、「One Health特別講義I」、「One Health特別講義II」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2」から「教授2、准教授1」に変更。
- ・ 大屋准教授退職の理由により、「One Health特別演習」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3」から「教授2、准教授2」に変更。
- ・ 山添教授退職の理由により、「難病治療・創薬特別演習」の専任教員等の配置を「教授2、准教授13」から「教授2、准教授12」に変更。
- ・ 大屋准教授退職の理由により、「国内特別実践演習I」、「国内特別実践演習II」、「海外特別実践演習I」、「海外特別実践演習II」、「ジョイントワーク

【令和2年度】

- ・ 担当講師の業務上理由により、「生物情報解析学特論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・ 齋藤准教授の教授昇任の理由により、「神経科学基盤特別講義」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 酒井准教授の教授昇任の理由により、「腫瘍学基盤特別講義」、「腫瘍学基盤特別演習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 杉山教授退職の理由により、「ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別講義」、「ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別実験」、「ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別演習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 渡邊准教授の教授昇任の理由により、「小動物外科学基盤特別講義」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 渡邊准教授の教授昇任の理由により、「獣医麻酔外科学基盤特別講義」の専任教員等の配置を「准教授3」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・ 齋藤准教授の教授昇任の理由により、「神経科学基盤特別演習」、「神経科学基盤特別実験」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 酒井准教授の教授昇任の理由により、「腫瘍学基盤特別演習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 中川准教授採用の理由により、「病原微生物学基盤特別実験」、「病原微生物学基盤特別演習」、「獣医感染症学特別講義」、「獣医感染症学特別演習」、「ウイルスの病原性発現機構の分子細胞生物学特別講義」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・ 渡邊准教授の教授昇任の理由により、「獣医麻酔外科学基盤特別演習」、「獣医麻酔外科学基盤特別実験」の専任教員等の配置を「准教授3」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・ 酒井准教授の教授昇任の理由により、「腫瘍学基盤特別実験」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2」に変更。
- ・ 井口講師採用の理由により、「獣医診断治療学基盤特別講義」、「獣医診断治療学基盤特別演習」、「獣医診断治療学基盤特別実験」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2、講師1」に変更。
- ・ 井口講師採用の理由により、「獣医感染症内科学特別講義」、「獣医感染症内科学特別演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・ 井口講師採用の理由により、「獣医内科診断治療学特別実験」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2、講師1」に変更。
- ・ 井口講師採用の理由により、「プログレスセミナーI」、「プログレスセミナーII」の専任教員等の配置を「教授12、准教授14、講師2」から「教授12、准教授14、講師3」に変更。
- ・ 杉山教授退職の退職及び伊藤准教授の教授昇任の理由により、「病原性ウイルス生態学特別実験」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
- ・ 酒井准教授、齋藤准教授、伊藤准教授、渡邊准教授の教授昇任及び杉山教授退職並びに中川准教授採用の理由により、「プログレスセミナーI」、「プログレスセミナーII」の専任教員等の配置を「教授12、准教授12」から「教授15、准教授9」に変更。
- ・ 酒井准教授、齋藤准教授、伊藤准教授、渡邊准教授の教授昇任及び杉山教授退職の理由により、「国内特別実践演習I」、「国内特別実践演習II」、「海外特別実践演習I」、「海外特別実践演習II」、「ジョイントワークショップ演習」の専任教員等の配置を「教授12、准教授10」から「教授15、准教授6」に変更。

【令和3年度】

- ・ 正谷准教授採用の理由により、「ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別講義」、「ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別演習」、「ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別実験」、「病原性ウイルス生態学特別演習」、「病原性ウイルス生態学特別実験」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・ 正谷准教授採用に伴う担当講師変更(伊藤教授⇒正谷准教授)の理由により、「病原性ウイルス生態学特別講義」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ 正谷准教授採用の理由により、「プログレスセミナーI」、「プログレスセミナーII」の専任教員等の配置を「教授15、准教授9」から「教授15、准教授10」に変更。
- ・ 正谷准教授採用の理由により、「国内特別実践演習I」、「国内特別実践演習II」、「海外特別実践演習I」、「海外特別実践演習II」、「ジョイントワークショップ演習」の専任教員等の配置を「教授15、准教授6」から「教授15、准教授7」に変更。
- ・ 樋口講師の准教授昇任の理由により、「細胞分化制御学基盤特別講義」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 曾田講師の准教授昇任の理由により、「動物感染症学基盤特別講義」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 曾田講師の准教授昇任の理由により、「家畜衛生・公衆衛生特別演習」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師1」から「教授2、准教授3」に変更。
- ・ 曾田講師の准教授昇任の理由により、「感染症の制圧特別講義」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 曾田講師の准教授昇任の理由により、「鳥インフルエンザの確定診断特別演習」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1、講師1」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・ 東准教授の退職及び樋口講師の准教授昇任の理由により、「難病治療・創薬特別演習」の専任教員等の配置を「教授2、准教授8、講師1」から「教授2、准教授8」に変更。
- ・ 樋口講師の准教授昇任の理由により、「遺伝情報制御学特別講義」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 樋口講師の准教授昇任の理由により、「遺伝情報制御学特別演習」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・ 東准教授の退職及び樋口講師、曾田講師の准教授昇任の理由により、「プログレスセミナーI」の専任教員等の配置を「教授12、准教授14、講師3」から「教授12、准教授15、講師1」に変更。
- ・ 東准教授の退職及び樋口講師、曾田講師の准教授昇任の理由により、「プログレスセミナーII」の専任教員等の配置を「教授12、准教授14、講師3」から「教授12、准教授15、講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

大学名	設置時の計画				変更状況				備考
	必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
岐阜大学	3 科目	88 科目	0 科目	91 科目	3 科目 [0]	88 科目 [0]	0 科目 [0]	91 科目 [0]	
鳥取大学	2 科目	92 科目	0 科目	94 科目	2 科目 [0]	92 科目 [0]	0 科目 [0]	94 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
岐阜大学	1	該当なし					
	2						
	3						
鳥取大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。

(4) 廃止科目

	番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
岐阜大学	1	該当なし					
	2						
	3						
鳥取大学	1	該当なし					
	2						
	3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(岐阜大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{91} = \boxed{2.19\%}$$

(鳥取大学)

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{94} = \boxed{2.12\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

(岐阜大学)

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	その他の内, 附属病院 63,614㎡			
	校 舎 敷 地	177,831㎡	0㎡	0㎡	177,831㎡				
	運 動 場 用 地	90,589㎡	0㎡	0㎡	90,589㎡				
	小 計	268,420㎡	0㎡	0㎡	268,420				
	そ の 他	6,929,303㎡	11,711㎡	0㎡	6,941,014㎡				
	合 計	7,197,723㎡	11,711㎡	0㎡	7,209,434㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	別途附属病院70,002㎡			
		196,992㎡ (196,992㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	196,992㎡ (196,992㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実 験 実 習 室	情 報 処 理 学 習 施 設	語 学 学 習 施 設	大学全体			
	97室	67室	575室	8室 (補助職員0人)	3室 (補助職員0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	共同獣医学研究科 共同獣医学専攻			25 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電 子 ジ ャ ー ナ ル 〔うち外国書〕	視 聴 覚 資 料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部等单位での特定不 能なため, 大学全体の 数	
	共同獣医学専攻	914,427 [304,296] (914,427 [304,183])	16,923 [5,682] (16,923 [5,682])	6,988 [5,567] (6,988 [5,567])	3,181 (3,181)	11,204 (11,204)	2,230 (2,230)		
	計	914,427 [304,296] (914,427 [304,183])	16,923 [5,682] (16,923 [5,682])	6,988 [5,567] (6,988 [5,567])	3,181 (3,181)	11,204 (11,204)	2,230 (2,230)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	9,157㎡	699		959,584					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体		
	4,616㎡	弓道場, プール, 陸上競技場, 野球場, ラグビー場, サッカーコート, バスケットボールコート(3面), ハンドボールコート(2面), バレーボ ールコート(4面), テニスコート(13面)							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(鳥取大学)

区 分		内 容				備考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 その他のうち, 附属病院 51,492㎡
	校 舎 敷 地	250,060㎡	0㎡	0㎡	250,060㎡	
	運 動 場 用 地	123,946㎡	0㎡	0㎡	123,946㎡	
	小 計	374,006㎡	0㎡	0㎡	374,006㎡	
	そ の 他	9,321,100㎡	0㎡	0㎡	9,321,100㎡	
	合 計	9,695,106㎡	0㎡	0㎡	9,695,106㎡	

(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	別途附属病院 72,485㎡			
	133,259㎡ (133,259㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	133,259㎡ (133,259㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	9室	32室	5室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室数		専任講師1名採用のため(2) 専任准教授1名退職のため(3)			
	共同獣医学研究科 共同獣医学専攻		28 29 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	研究科単位での特定不能のため、大学全体の数。 購入等による増(3) 購入等による増(2)
	共同獣医学専攻	708,799 [192,137] 703,749 [191,902] 699,057 [191,625] (708,799 [192,137]) (703,749 [191,902]) (699,057 [191,625])	19,250 [8,884] 19,197 [8,874] 19,150 [8,892] (19,250 [8,884]) (19,197 [8,874]) (19,150 [8,892])	6,169 [4,741] 6,165 [4,743] 6,141 [4,761] (6,169 [4,741]) (6,165 [4,743]) (6,141 [4,761])	6,344 6,177 6,096 (6,344) (6,177) (6,096)	32,734 (32,734)	32 (32)	
	計	708,799 [192,137] 703,749 [191,902] 699,057 [191,625] (708,799 [192,137]) (703,749 [191,902]) (699,057 [191,625])	19,250 [8,884] 19,197 [8,874] 19,150 [8,892] (19,250 [8,884]) (19,197 [8,874]) (19,150 [8,892])	6,169 [4,741] 6,165 [4,743] 6,141 [4,761] (6,169 [4,741]) (6,165 [4,743]) (6,141 [4,761])	6,344 6,177 6,096 (6,344) (6,177) (6,096)	32,734 (32,734)	32 (32)	
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体	
	6,014㎡		782 942		668,639 657,439		感染症予防対策による減(3) 購入・設備整備等による増(3)	
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	3,321㎡		武道場、弓道場、陸上競技場、野球場、テニスコート ラグビー兼サッカー場、水泳プール					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共同研究費等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要			—					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	岐阜大学						学生募集停止学科数	9	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	3	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
<学部>											
教育学部	4	220	—	970	学士(教育学)	1.04	1.04	—	昭和41	岐阜県岐阜市柳戸1番1	定員変更(▲30) 令和2年度学生募集停止
学校教育教員養成課程	4	220	—	970	学士(教育学)	1.04	1.04	—	平成10	同上	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	学士(教育学)	—	—	—	平成19	同上	
地域科学部	4	100	3年次 ¹⁰	420	学士(地域科学)	1.05	1.02	—	平成8	岐阜県岐阜市柳戸1番1	地域科学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
地域政策学科	4	50	3年次 ⁵	210	学士(地域科学)	—	—	—	平成18	同上	
地域文化学科	4	50	3年次 ⁵	210	学士(地域科学)	—	—	—	平成18	同上	
医学部											
医学科	4・6	190	—	980	士(医学)	1.00	1.01	—	昭和39	岐阜県岐阜市柳戸1番1	定員変更(25) 令和2年度学生募集停止(3年次編入学)
看護学科	6	110	—	660	学士(医学)	0.99	1.01	令和2	昭和39	同上	
看護学科	4	80	—	320	学士(看護学)	1.00	1.00	—	平成12	同上	
工学部											
社会基盤工学科	4	510	3年次 ³⁰	2,100	学士(工学)	1.03	1.01	—	昭和27	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
機械工学科	4	60	3年次 ¹⁰	260	学士(工学)	1.04	1.03	—	平成14	同上	
化学・生命工学科	4	130	3年次 ¹⁰	540	学士(工学)	1.05	1.01	—	平成25	同上	
電気電子・情報工学科	4	150	3年次 ²	604	学士(工学)	1.03	1.00	—	平成25	同上	
電気電子・情報工学科	4	170	3年次 ⁸	696	学士(工学)	1.02	1.00	—	平成25	同上	
応用生物科学部											
応用生命科学課程	4・6	190	3年次 ¹⁰	840	士(生物学)	1.05	1.04	—	平成16	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
生産環境科学課程	4	80	3年次 ⁵	330	学士(応用生物学)	1.03	1.00	—	平成23	同上	
共同獣医学科	4	80	3年次 ⁵	330	士(応用生物学)	1.08	1.06	—	平成16	同上	
獣医学課程	6	30	—	180	学士(獣医学)	1.04	1.07	—	平成25	同上	
獣医学課程	6	—	—	—	学士(獣医学)	—	—	—	平成16	同上	
獣医学課程	6	—	—	—	学士(獣医学)	—	—	—	平成16	同上	平成25年度学生募集停止
社会システム経営学環	4	30	—	30	学士(経営学)	1.07	1.07	—	令和3	岐阜県岐阜市柳戸1番1	令和3年度新設
大学合計		1,240	3年次 ⁵⁰	5,340							
<大学院>											
教育学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成7	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
教職実践開発専攻(専門職学位課程)	2	25	—	50	新職士(専門職)	1.00	0.92	—	平成20	同上	
心理発達支援専攻(修士課程)	2	10	—	20	修士(教育学)	0.95	1.20	—	平成20	同上	
総合教科教育専攻(修士課程)	2	34	—	68	修士(教育学)	1.16	1.24	—	平成25	同上	
地域科学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成13	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
地域政策専攻(修士課程)	2	12	—	24	修士(地域科学)	0.21	0.25	—	平成13	同上	
地域文化専攻(修士課程)	2	8	—	16	修士(地域科学)	1.50	1.75	—	平成13	同上	
医学系研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成17	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
医科学専攻	—	—	—	—	—	—	—	—	平成17	岐阜県岐阜市柳戸1番1	

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
(博士課程) 再生医科学専攻	4	47	—	188	博士(医学)	0.69	0.62	—	平成14	同上	
(博士課程) 看護学専攻	3	—	—	—	博士(再生医科学)	—	—	—	平成14	同上	平成31年度学生募集停止
(修士課程) 医療者教育学専攻	2	8	—	16	修士(看護学)	0.94	1.00	—	平成17	同上	
(修士課程)	2	6	—	12	修士(医療者教育学)	1.00	1.00	—	令和2	同上	
工学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	昭和42	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
社会基盤工学専攻 (修士課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—	—	—	平成18	同上	平成29年度学生募集停止
生産開発システム工学専攻 (博士課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成3	同上	平成31年度学生募集停止
物質工学専攻 (博士課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成3	同上	平成31年度学生募集停止
電子情報システム工学専攻 (博士課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成3	同上	平成31年度学生募集停止
環境エネルギーシステム専攻 (博士課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—	—	平成11	同上	平成31年度学生募集停止
工学専攻 (博士課程)	3	23	—	69	博士(工学)	1.05	0.91	—	平成31	同上	
岐阜大学・インド工科大学グワ ハティイ校国際連携統合機械工学専攻 (博士課程)	3	2	—	6	博士(学術)	1.00	1.50	—	平成31	同上	
岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻 (博士課程)	3	2	—	6	博士(学術)	1.00	1.00	—	平成31	同上	
自然科学技術研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成29	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
生命科学・化学専攻 (修士課程)	2	74	—	148	修士(生命科学)	1.34	1.45	—	平成29	同上	
生物生産環境科学専攻 (修士課程)	2	42	—	84	修士(応用生命科学)	1.06	1.10	—	平成29	同上	
環境社会基盤工学専攻 (修士課程)	2	29	—	58	修士(工学)	1.18	1.14	—	平成29	同上	
物質・ものづくり工学専攻 (修士課程)	2	67	—	134	修士(工学)	1.24	1.18	—	平成29	同上	
知能理工学専攻 (修士課程)	2	81	—	162	修士(工学)	1.17	1.12	—	平成29	同上	
エネルギー工学専攻 (修士課程)	2	72	—	144	修士(工学)	1.18	1.28	—	平成29	同上	
岐阜大学・インド工科大学グワ ハティイ校国際連携食品科学技術専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士(食品科学技術)	0.46	0.30	—	平成31	同上	
共同獣医学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成31	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
共同獣医学専攻 (博士課程)	4	6	—	18	博士(獣医学)	0.94	1.16	—	平成31年度	同上	
連合農学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	平成3	岐阜県岐阜市柳戸1番1	

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	年度
生物生産科学専攻 (博士課程)	3	7	—	21	博士(農学)	0.76	0.71	—	平成3	同上	
生物環境科学専攻 (博士課程)	3	5	—	15	博士(農学)	1.00	0.60	—	平成3	同上	
生物資源科学専攻 (博士課程)	3	6	—	18	博士(農学)	1.35	1.88	—	平成3	同上	
岐阜大学・インド工科大学グワ ハティ校国際連携食品科学技術専攻 (博士課程)	3	2	—	6	博士(学術)	0.75	0.50	—	平成31	同上	
連合獣医学研究科 獣医学専攻 (博士課程)	— 4	— —	— —	— —	— 博士(獣医学)	— —	— —	— —	平成2 平成2	岐阜県岐阜市柳戸1番1 同上	平成31年度学生募集停止
連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻 (博士課程)	— 3	— 3	— —	— 9	— 博士(工学または薬科学)	— 0.89	— 0.00	— —	平成19 平成19	岐阜県岐阜市柳戸1番1 同上	
医療情報学専攻 (博士課程)	3	3	—	9	博士(薬科学または健康科学)	1.00	0.67	—	平成19	同上	
研究科合計											
修士課程	—	453	—	906	—	—	—	—	—	—	
博士課程	—	106	—	365	—	—	—	—	—	—	
専門職学位課程	—	25	—	50	—	—	—	—	—	—	

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・構成大学ごとに記入してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学						学生募集停止学科数	37	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	6	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
<学部>											
文学部	4	125	3年次10	520	学士(文学)	1.04	1.00		昭和24年度	愛知県名古屋市中種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次10	520	学士(文学)	1.04	1.00		平成8年度	同上	
教育学部	4	65	3年次10	280	学士(教育学)	1.09	1.13		昭和24年度	愛知県名古屋市中種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次10	280	学士(教育学)	1.09	1.13		平成9年度	同上	
法学部	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.07	1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市中種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.07	1.02		平成9年度	同上	
経済学部	4	205	3年次10	840	学士(経済学)	1.04	1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市中種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140	—	560	学士(経済学)	—	—		昭和24年度	同上	
経営学科	4	65	—	260	学士(経済学)	—	—		昭和24年度	同上	
学部共通	—	—	3年次10	20	学士(経済学)	—	—		—	同上	
情報文化学部	4	—	—	—	学士(情報文化学)	—	—		平成5年度	愛知県名古屋市中種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—	—	—	学士(情報文化学)	—	—		平成5年度	同上	
社会システム情報学科	4	—	—	—	学士(情報文化学)	—	—		平成5年度	同上	
学部共通	—	—	3年次—	—	学士(情報文化学)	—	—		—	同上	
情報学部	4	135	3年次10	560	学士(情報学)	1.03	1.02		平成29年度	愛知県名古屋市中種区不老町1	
自然情報学科	4	38	3年次4	160	学士(情報学)	1.04	1.07		平成29年度	同上	
人間・社会情報学科	4	38	3年次4	160	学士(情報学)	0.97	0.92		平成29年度	同上	
コンピュータ科学科	4	59	3年次2	240	学士(情報学)	1.05	1.06		平成29年度	同上	
理学部	4	270	—	1,080	学士(理学)	1.07	1.03		昭和24年度	愛知県名古屋市中種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)	—	—		平成7年度	同上	
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)	—	—		昭和24年度	同上	
化学科	4	50	—	200	学士(理学)	—	—		昭和24年度	同上	
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)	—	—		平成8年度	同上	
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)	—	—		平成4年度	同上	
医学部	4・6	307	3年次5	1,462	学士(医学)	1.02	1.04	令和2年度	昭和24年度	—	
医学科	6	107	3年次5	662	学士(医学)	1.01	1.03	令和2年度	昭和24年度	愛知県名古屋市中種区鶴舞町65	
保健学科	4	200	—	800	学士(看護学)	1.03	1.04		平成9年度	愛知県名古屋市中種区大幸南1-1-20	
工学部	4	680	—	2,720	学士(工学)	1.02	1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市中種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成8年度	同上	平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成9年度	同上	平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成7年度	同上	平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成6年度	同上	平成29年度より学生募集停止

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	—		平成8年度	同上	平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	396	学士(工学)	1.03	1.03		平成29年度	同上	
物理工学科	4	83	—	332	学士(工学)	1.02	1.01		平成29年度	同上	
マテリアル工学科	4	110	—	440	学士(工学)	1.01	1.02		平成29年度	同上	
電気電子情報工学科	4	118	—	472	学士(工学)	1.01	1.00		平成29年度	同上	
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	600	学士(工学)	1.01	1.02		平成29年度	同上	
エネルギー理工学科	4	40	—	160	学士(工学)	1.06	1.00		平成29年度	同上	
環境土木・建築学科	4	80	—	320	学士(工学)	1.02	1.05		平成29年度	同上	
農学部	4	170	—	680	学士(農学)	1.07	1.04		昭和26年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.05	1.05		平成18年度	同上	
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06	1.03		平成18年度	同上	
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.08	1.05		平成18年度	同上	
合計		2,107	3年次 55 2年次 —	8,762							
<大学院> 文学研究科									昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋千種区不老町1 同上	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(文学) 博士(歴史学)	—	—				
人文学研究科									平成29年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学)	1.03	0.98		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.62	0.60				
教育発達科学研究科									昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋千種区不老町1 同上	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.79	0.93				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	0.82	0.68				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 博士(臨床心理学)	0.95	0.95		平成12年度	同上	
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.93	0.73				
法学研究科									昭和28年度 平成16年度	愛知県名古屋千種区不老町1 同上	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法学)	0.85	0.77				
(博士後期課程)	3	17	—	51	修士(法学) 博士(比較法学) 博士(現代法学)	0.50	0.11				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.73	0.72		平成16年度	同上	
経済学研究科									昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋千種区不老町1 同上	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営学)	0.93	0.76				
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.41	0.26				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	0.63	0.85		平成12年度	同上	
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.42	0.14				
情報学研究科									平成29年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
数理情報学専攻									平成29年度	同上	

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
(博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学)	1.17	1.14				
(博士後期課程)	3	4	—	12	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.50	0.50				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.23	1.16		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学) 博士(学術)	0.70	0.37				
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学) 修士(学術)	0.97	0.94		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(情報学) 博士(学術)	0.40	0.20				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.83	0.86		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.90	0.71				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.06	1.06		平成29年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.29	0.22				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.47	1.75		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	1.50	2.00				
理学研究科									昭和28年度	愛知県名古屋千種区不老町1	
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05	1.10		平成7年度	同上	
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.66	0.40				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.23	1.15		平成7年度	同上	
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.79	0.81				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05	0.97		平成8年度	同上	
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.40	0.11				
名古屋大学・エディンバラ 大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	0.00		平成28年度	同上	
医学系研究科									昭和30年度 (平成14年度名称変更)	—	
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	604	博士(医学)	1.09	1.09		平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
名古屋大学・アデレード大 学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.18	0.00		平成27年度	同上	
名古屋大学・ルンド大 学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.12	0.00		平成29年度	同上	
名古屋大学・フライブルク 大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	8	博士(医学)	0.00	0.00		平成30年度	同上	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.77	0.75		平成13年度	同上	
医療行政コース 総合保健学専攻 (博士前期課程)	1	10	—	10	修士(医療行政学)	0.90	0.00		令和2年度	愛知県名古屋市中区大幸南1-1-20	
(博士後期課程)	2	70	—	140	修士(看護学) 博士(医療技術学)	0.87	0.82				
(博士後期課程)	3	20	—	40	修士(看護学) 博士(医療技術学) 修士(リハビリテーション療法学)	0.87	0.80				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(看護学)	—	—		平成14年度	同上	令和2年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(看護学)	—	—				

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
医療技術学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(医療技術学)	—	—		平成14年度	同上	令和2年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(医療技術学)	—	—				
リハビリテーション療法学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(リハビリテーション療法学)	—	—		平成14年度	同上	令和2年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(リハビリテーション療法学)	—	—				
工学研究科									昭和28年度	愛知県名古屋市中千種区不老町1	
化学・生物工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止
マテリアル理工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止
機械理工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止
社会基盤工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止
結晶材料工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		昭和52年度 (平成16年度再編)	愛知県名古屋市中千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
マイクロ・ナノシステム工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止
計算理工学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—	—		平成9年度 (平成16年度再編)	同上	平成29年度より学生募集停止
有機・高分子化学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.02	0.97		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.95	0.62				
応用物質化学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	0.98	1.05		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58	0.50				
生命分子工学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	0.99	1.03		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.71	0.66				
応用物理学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	1.11	1.12		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.47	0.44				
物質科学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.92	0.97		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33	0.44				
材料デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	0.99	0.91		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16	0.37				
物質プロセス工学専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.15	1.08		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	1.14	1.33				
化学システム工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.23	1.14		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.24	1.37				
電気工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.36	1.35		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.80	0.66				
電子工学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.25	1.23		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.96	0.76				
情報・通信工学専攻 (博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.21	1.33		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.70	0.75				
機械システム工学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.34	1.31		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.52	0.57				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.33	1.36		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.74	0.25				
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.43	1.36		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.87	0.87				
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	1.11	1.22		平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.60	1.00				
総合エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	1.10	0.94		平成29年度	同上	

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
	年	人	年次人	人		倍	倍					
(博士後期課程) 土木工学専攻	3	4	—	12	修士(工学)	0.58	0.25		平成29年度	同上		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.98	0.91					
(博士後期課程)	3	9	—	27	修士(工学)	0.81	0.33					
生命農学研究科										昭和30年度 (平成9年度名称変更)	愛知県名古屋市千種区不老町1	
生物圏資源学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—	—		平成11年度	同上	平成30年度より学生募集停止	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(農学)	—	—					
生物機構・機能科学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	修士(農学)	—	—		平成9年度	同上	平成30年度より学生募集停止	
生命技術科学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	修士(農学)	—	—		平成16年度	同上	平成30年度より学生募集停止	
森林・環境資源科学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(農学)	1.16	1.11		平成30年度	同上		
(博士後期課程)	3	6	—	18	修士(農学)	0.99	1.00					
植物生産科学専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(農学)	1.23	1.26					
(博士後期課程)	3	9	—	27	修士(農学)	1.14	0.77					
動物科学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(農学)	1.03	1.07		平成30年度	同上		
(博士後期課程)	3	7	—	21	修士(農学)	0.75	0.42					
応用生命科学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(農学)	1.08	1.09		平成30年度	同上		
(博士後期課程)	3	16	—	48	修士(農学)	0.47	0.43					
名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	修士(農学)	0.66	0.00		平成30年度	同上		
名古屋大学・西オーストラリア大学国際連携生命農学 (博士後期課程)	3	2	—	6	修士(農学)	0.50	0.00		平成31年度	同上		
国際開発研究科										平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—	—		平成3年度	同上	平成30年度より学生募集停止	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—	—					
国際協力専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—	—		平成4年度	同上	平成30年度より学生募集停止	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—	—					
国際コミュニケーション専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	修士(国際開発学)	—	—		平成5年度	同上	平成29年度より学生募集停止	
国際開発協力専攻 (博士前期課程)	2	44	—	88	修士(国際開発学)	0.93	0.90		平成30年度	同上		
(博士後期課程)	3	22	—	66	修士(学術)	0.71	0.50					
多元数理科学研究科										平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.07	1.10		平成7年度	同上		
(博士後期課程)	3	30	—	90	修士(数理学)	0.55	0.50					
国際言語文化研究科										平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	修士(文学)	—	—		平成10年度	同上		
国際多元文化専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—	—					
国際多元文化専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	修士(文学)	—	—		平成10年度	同上		
国際多元文化専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—	—					
環境学研究科										平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.84	0.77		平成13年度	同上		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.39	0.41					

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学) 修士(工学) 修士(建築学)	1.25	1.19		平成13年度	同上	
(博士後期課程)	3	21	—	63	博士(環境学) 博士(工学) 博士(建築学)	0.37	0.23				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学) 修士(社会学) 修士(地理学) 修士(法学) 修士(経済学)	0.81	0.66		平成13年度	同上	
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(環境学) 博士(社会学) 博士(地理学) 博士(法学) 博士(経済学)	0.50	0.30				
情報科学研究科									平成15年度	愛知県名古屋市中種 区不老町1	平成29年度より学生 募集停止
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学) 修士(学術)	—	—		平成15年度	同上	
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—				
メディア科学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—		平成15年度	同上	
複雑系科学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—		平成15年度	同上	
社会システム情報学専攻 (博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—	—		平成15年度	同上	
創薬科学研究科									平成24年度	愛知県名古屋市中種 区不老町1	
基盤創薬学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.10	1.09		平成24年度	同上	
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	1.00	1.10		平成26年度		
合計											
博士前期課程		1,626	—	3,252							
博士後期課程		571	—	1,710							
博士課程		161	—	644							
修士課程		30	—	50							
専門職学位課程		50	—	150							

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・構成大学ごとに記入してください。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	鳥取大学						学生募集停止学科数	19	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考	
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度		所在地
<学部>	年	人	年次人	人			倍	倍	年度	年度		
地域学部	4	170	-	680	-		1.04	1.02	-	平成16	-	
地域学科	4	170	-	680	学士(地域学)		1.04	1.02	-	平成29	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	
地域創造コース	4	60	-	240	学士(地域学)		1.06	1.05	-	平成29	同上	
人間形成コース	4	55	-	220	学士(地域学)		1.04	1.00	-	平成29	同上	
国際地域文化コース	4	55	-	220	学士(地域学)		1.01	1.03	-	平成29	同上	
地域政策学科	4	-	-	-	学士(地域学)		-	-	-	平成16	同上	平成29年度から学生募集停止
地域教育学科	4	-	-	-	学士(地域学)		-	-	-	平成16	同上	平成29年度から学生募集停止
地域文化学科	4	-	-	-	学士(地域学)		-	-	-	平成16	同上	平成29年度から学生募集停止
医学部	6	104	2年次5	653	-		1.00	1.00	-	昭和24	-	
医学科	4	160	-	640	-		1.02	1.02	-	昭和24	-	
生命科学科	4	40	2年次5	160	学士(医学)		1.00	1.00	令和2	昭和24	鳥取県米子市西町86番地	令和2年度から収容定員増延長
保健学科	4	120	-	480	学士(生命科学)		1.04	1.05	-	平成2	同上	
看護学専攻	4	80	-	320	学士(看護学)		1.01	1.02	-	平成11	同上	
検査技術科学専攻	4	40	-	160	学士(保健学)		1.01	1.00	-	平成11	同上	
工学部	4	450	-	1,800	-		1.02	1.02	-	昭和40	-	
機械物理系学科	4	115	-	460	学士(工学)		1.05	1.02	-	平成27	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	
電気情報系学科	4	125	-	500	学士(工学)		1.02	1.01	-	平成27	同上	
化学バイオ系学科	4	100	-	400	学士(工学)		1.04	1.06	-	平成27	同上	
社会システム土木系学科	4	110	-	440	学士(工学)		1.00	1.00	-	平成27	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士(工学)		-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生募集停止
知能情報工学科	4	-	-	-	学士(工学)		-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士(工学)		-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生募集停止
物質工学科	4	-	-	-	学士(工学)		-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生募集停止
社会開発システム工学科	4	-	-	-	学士(工学)		-	-	-	平成元	同上	平成27年度から学生募集停止
農学部	6	35	-	210	-		1.04	1.05	-	昭和24	-	
生命環境農学科	4	220	-	880	-		1.01	1.00	-	昭和24	-	
生物資源環境学科	4	220	-	880	学士(農学)		1.01	1.00	-	平成29	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	
共同獣医学科	4	-	-	-	学士(農学)		-	-	-	平成11	同上	平成29年度から学生募集停止
獣医学科	6	35	-	210	学士(獣医学)		1.04	1.05	-	平成25	同上	
獣医学科	6	-	-	-	学士(獣医学)		-	-	-	昭和24	同上	平成25年度から学生募集停止

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
大学全体	4	1,000		4,210	-	1.02	1.02	-			
	6	139	2年次 5	653	-	1.01	1.01	-			
<大学院>											
持続性社会創生科学研究科	2	251		502	-	1.05	1.09	-	平成29	-	
博士前期課程											
地域学専攻	2	20		40	-	0.50	0.65	-	平成29	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
地域創生コース	2	10		20	修士 (地域学)	0.45	0.60	-	平成29	同上	
人間形成コース	2	10		20	修士 (教育学)	0.55	0.70	-	平成29	同上	
工学専攻	2	165		330	修士 (工学又は 学術)	1.17	1.22	-	平成29	同上	
農学専攻	2	46		92	修士 (農学)	0.87	0.95	-	平成29	同上	
国際乾燥地科学専攻	2	20		40	修士 (農学又は 学術)	1.02	0.85	-	平成29	同上	
地域学研究科	2	-	-	-	-			-	平成19	-	
修士課程											
地域教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)			-	平成19	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	平成29年度から学生 募集停止
医学系研究科	2	41		82	-	1.14	1.17	-	昭和33	-	
	3	8		16	-	0.62	0.62	-	昭和33	-	
	4	30		120	-	0.89	0.83	-	昭和33	-	
修士課程											
臨床心理学専攻	2	6		12	修士 (臨床心理学)	1.24	0.83	-	平成21	鳥取県米子市西町86 番地	
博士課程											
医学専攻	4	30		120	博士 (医学)	0.89	0.83	-	平成16	同上	
博士前期課程											
医科学専攻	2	35		70	修士(保健 学) 修士(医科 学)	1.12	1.22	-	令和2	同上	
保健学専攻	2	-	-	-	修士 (保健学)			-	平成16	同上	令和2年度から学生 募集停止
博士後期課程											
医科学専攻	3	8		16	博士(保健 学) 博士(医科 学)	0.62	0.62	-	令和2	同上	
生命科学専攻	3	-	-	-	博士 (生命科学)	-	-	-	平成8	同上	令和2年度から学生 募集停止
機能再生医科学専攻	3	-	-	-	博士 (再生医科学)	-	-	-	平成15	同上	令和2年度から学生 募集停止
保健学専攻	3	-	-	-	博士 (保健学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年度から学生 募集停止
工学研究科	3	21		63	-	0.67	0.47	-	昭和49	-	
博士後期課程											
機械宇宙工学専攻	3	6		18	博士 (工学)	0.33	0.00	-	平成20	同上	
情報エレクトロニクス専攻	3	6		18	博士 (工学)	0.72	1.00	-	平成20	同上	

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
化学・生物応用工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	0.91	0.50	-	平成20	同上	
社会基盤工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.86	0.40	-	平成20	同上	
連合農学研究科	3	19	-	57	-	1.25	0.84	-	平成元	-	
博士課程											
生産環境科学専攻	3	8	-	24	博士 (農学)	0.91	0.62	-	平成30	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
生命資源科学専攻	3	7	-	21	博士 (農学)	1.18	0.85	-	平成30	同上	
国際乾燥地科学専攻	3	4	-	12	博士 (農学)	2.08	1.25	-	平成30	同上	
生物生産科学専攻	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成元	同上	平成30年度から学生 募集停止
生物環境科学専攻	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成元	同上	平成30年度から学生 募集停止
生物資源科学専攻	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成元	同上	平成30年度から学生 募集停止
国際乾燥地科学専攻	3	-	-	-	博士 (農学)	-	-	-	平成21	同上	平成30年度から学生 募集停止
共同獣医学研究科	4	5	-	15	-	0.86	0.60	-	平成31	-	
博士課程											
共同獣医学専攻	4	5	-	15	博士 (獣医学)	0.86	0.60	-	平成31	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
大学院全体	2	292		584	-	1.06	1.10	-			
	3	48		144	-	0.92	0.64	-			
	4	35		140	-	0.89	0.80	-			

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科及び別科を除く)。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている

場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・構成大学ごとに記入してください。

5 教員組織の状況

(1) ① 担当教員表

<岐阜大学>

【認可時又は届出時】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	福士 秀人 <平成31年4月> 博士(獣医学)	福士 秀人 <平成31年4月> 博士(獣医学)	福士 秀人 <平成31年4月> 博士(獣医学)	福士 秀人 <平成31年4月> 博士(獣医学)	福士 秀人 <平成31年4月> 博士(獣医学)	福士 秀人 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(病原微生物学基盤特別講義) 基盤特別演習(病原微生物学基盤特別演習) 基盤特別実験(病原微生物学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(ウイルスの病原性発現機構の分子細胞生物学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ 研究推進特別実験(獣医感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)	基盤特別講義(病原微生物学基盤特別講義) 基盤特別演習(病原微生物学基盤特別演習) 基盤特別実験(病原微生物学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(ウイルスの病原性発現機構の分子細胞生物学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ 研究推進特別実験(獣医感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)	基盤特別講義(病原微生物学基盤特別講義) 基盤特別演習(病原微生物学基盤特別演習) 基盤特別実験(病原微生物学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(ウイルスの病原性発現機構の分子細胞生物学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ 研究推進特別実験(獣医感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)	基盤特別講義(病原微生物学基盤特別講義) 基盤特別演習(病原微生物学基盤特別演習) 基盤特別実験(病原微生物学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(ウイルスの病原性発現機構の分子細胞生物学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ 研究推進特別実験(獣医感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)	基盤特別講義(病原微生物学基盤特別講義) 基盤特別演習(病原微生物学基盤特別演習) 基盤特別実験(病原微生物学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(ウイルスの病原性発現機構の分子細胞生物学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ 研究推進特別実験(獣医感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)	基盤特別講義(病原微生物学基盤特別講義) 基盤特別演習(病原微生物学基盤特別演習) 基盤特別実験(病原微生物学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(ウイルスの病原性発現機構の分子細胞生物学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ 研究推進特別実験(獣医感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		杉山 誠 <平成31年4月> 博士(獣医学)	杉山 誠 <平成31年4月> 博士(獣医学)				
		基盤特別講義(ウイ	基盤特別講義(ウイ				

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
担当授業科目名		
専	教授	基盤特別講義(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別講義) 基盤特別演習(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別演習) 基盤特別実験(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(病原性ウイルス生態学特別講義) スペシャリスト特別演習(病原性ウイルス生態学特別演習) ※ 研究推進特別実験(病原性ウイルス生態学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		鬼頭 克也 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(難治性内科疾患基盤特別講義) 基盤特別演習(難治性内科疾患基盤特別演習) 基盤特別実験(難治性内科疾患基盤特別実験)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
担当授業科目名		
専	教授	基盤特別講義(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別講義) 基盤特別演習(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別演習) 基盤特別実験(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(病原性ウイルス生態学特別講義) スペシャリスト特別演習(病原性ウイルス生態学特別演習) ※ 研究推進特別実験(病原性ウイルス生態学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		鬼頭 克也 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(難治性内科疾患基盤特別講義) 基盤特別演習(難治性内科疾患基盤特別演習) 基盤特別実験(難治性内科疾患基盤特別実験)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
担当授業科目名		
		鬼頭 克也 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(難治性内科疾患基盤特別講義) 基盤特別演習(難治性内科疾患基盤特別演習) 基盤特別実験(難治性内科疾患基盤特別実験)

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
担当授業科目名		
		鬼頭 克也 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(難治性内科疾患基盤特別講義) 基盤特別演習(難治性内科疾患基盤特別演習) 基盤特別実験(難治性内科疾患基盤特別実験)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別講義 I)※ スペシャリスト特別 講義 (獣医分子内科学特 別講義)※ スペシャリスト特別 演習(獣医分子内科 学特別演習)※ 研究推進特別実験 (難治性内科疾患研 究推進特別実験) 演習科目(プログレ スセミナーI) 演習科目(プログレ スセミナーII) アドバンスト教育科 目(国内特別実践演習 I) アドバンスト教育科 目(国内特別実践演習 II) アドバンスト教育科 目(海外特別実践演 習I) アドバンスト教育科 目(海外特別実践演 習II) アドバンスト教育科 目(ジョイントワー クショップ演習)
		山添 和明 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	教授	基盤特別講義(小動 物外科学基盤特別講 義) スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別講義 I)※ スペシャリスト特別 講義 (獣医外科・麻酔学 特別講義)※ スペシャリスト特別 演習(獣医外科・麻 酔学特別演習)※ 演習科目(プログレ スセミナーI) 演習科目(プログレ スセミナーII)
		鈴木 正嗣 <平成31年4月>

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別講義 I)※ スペシャリスト特別 講義 (獣医分子内科学特 別講義)※ スペシャリスト特別 演習(獣医分子内科 学特別演習)※ 研究推進特別実験 (難治性内科疾患研 究推進特別実験) 演習科目(プログレ スセミナーI) 演習科目(プログレ スセミナーII) アドバンスト教育科 目(国内特別実践演習 I) アドバンスト教育科 目(国内特別実践演習 II) アドバンスト教育科 目(海外特別実践演 習I) アドバンスト教育科 目(海外特別実践演 習II) アドバンスト教育科 目(ジョイントワー クショップ演習)
		鈴木 正嗣 <平成31年4月>

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別講義 I)※ スペシャリスト特別 講義 (獣医分子内科学特 別講義)※ スペシャリスト特別 演習(獣医分子内科 学特別演習)※ 研究推進特別実験 (難治性内科疾患研 究推進特別実験) 演習科目(プログレ スセミナーI) 演習科目(プログレ スセミナーII) アドバンスト教育科 目(国内特別実践演習 I) アドバンスト教育科 目(国内特別実践演習 II) アドバンスト教育科 目(海外特別実践演 習I) アドバンスト教育科 目(海外特別実践演 習II) アドバンスト教育科 目(ジョイントワー クショップ演習)
		鈴木 正嗣 <平成31年4月>

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別講義 I)※ スペシャリスト特別 講義 (獣医分子内科学特 別講義)※ スペシャリスト特別 演習(獣医分子内科 学特別演習)※ 研究推進特別実験 (難治性内科疾患研 究推進特別実験) 演習科目(プログレ スセミナーI) 演習科目(プログレ スセミナーII) アドバンスト教育科 目(国内特別実践演習 I) アドバンスト教育科 目(国内特別実践演習 II) アドバンスト教育科 目(海外特別実践演 習I) アドバンスト教育科 目(海外特別実践演 習II) アドバンスト教育科 目(ジョイントワー クショップ演習)
		鈴木 正嗣 <平成31年4月>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	博士(獣医学)
		基盤特別講義(環境と感染症基盤特別講義) 基盤特別演習(環境と感染症基盤特別演習) 基盤特別実験(環境と感染症基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(野生動物の個体数管理特別講義) スペシャリスト特別演習(個体数管理特別演習)※ 研究推進特別実験(環境と感染症特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		大場 恵典 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(産業動物学基盤特別講義) 基盤特別演習(産業動物学基盤特別演習) 基盤特別実験(産業動物学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義I)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義II)※ スペシャリスト養成

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	博士(獣医学)
		基盤特別講義(環境と感染症基盤特別講義) 基盤特別演習(環境と感染症基盤特別演習) 基盤特別実験(環境と感染症基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(野生動物の個体数管理特別講義) スペシャリスト特別演習(個体数管理特別演習)※ 研究推進特別実験(環境と感染症特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		大場 恵典 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(産業動物学基盤特別講義) 基盤特別演習(産業動物学基盤特別演習) 基盤特別実験(産業動物学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義I)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義II)※ スペシャリスト養成

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	博士(獣医学)
		基盤特別講義(環境と感染症基盤特別講義) 基盤特別演習(環境と感染症基盤特別演習) 基盤特別実験(環境と感染症基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(野生動物の個体数管理特別講義) スペシャリスト特別演習(個体数管理特別演習)※ 研究推進特別実験(環境と感染症特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		大場 恵典 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(産業動物学基盤特別講義) 基盤特別演習(産業動物学基盤特別演習) 基盤特別実験(産業動物学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義I)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義II)※ スペシャリスト養成

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	博士(獣医学)
		基盤特別講義(環境と感染症基盤特別講義) 基盤特別演習(環境と感染症基盤特別演習) 基盤特別実験(環境と感染症基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(野生動物の個体数管理特別講義) スペシャリスト特別演習(個体数管理特別演習)※ 研究推進特別実験(環境と感染症特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		大場 恵典 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(産業動物学基盤特別講義) 基盤特別演習(産業動物学基盤特別演習) 基盤特別実験(産業動物学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義I)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義II)※ スペシャリスト養成

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	教授	浅井 鉄夫 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	教授	基盤特別講義(環境と感染症基盤特別講義) 基盤特別演習(環境と感染症基盤特別演習) 基盤特別実験(環境と感染症基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(薬剤耐性スペシャリスト特別講義) スペシャリスト特別演習(薬剤耐性スペシャリスト特別演習) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ 研究推進特別実験(環境と感染症特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	教授	浅井 鉄夫 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	教授	基盤特別講義(環境と感染症基盤特別講義) 基盤特別演習(環境と感染症基盤特別演習) 基盤特別実験(環境と感染症基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(薬剤耐性スペシャリスト特別講義) スペシャリスト特別演習(薬剤耐性スペシャリスト特別演習) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ 研究推進特別実験(環境と感染症特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	教授	浅井 鉄夫 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	教授	基盤特別講義(環境と感染症基盤特別講義) 基盤特別演習(環境と感染症基盤特別演習) 基盤特別実験(環境と感染症基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(薬剤耐性スペシャリスト特別講義) スペシャリスト特別演習(薬剤耐性スペシャリスト特別演習) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ 研究推進特別実験(環境と感染症特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	教授	浅井 鉄夫 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	教授	基盤特別講義(環境と感染症基盤特別講義) 基盤特別演習(環境と感染症基盤特別演習) 基盤特別実験(環境と感染症基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(薬剤耐性スペシャリスト特別講義) スペシャリスト特別演習(薬剤耐性スペシャリスト特別演習) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ 研究推進特別実験(環境と感染症特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
専	教授	村瀬 哲磨 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(産業動物学基盤特別講義) 基盤特別演習(産業動物学基盤特別演習) 基盤特別実験(産業動物学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(生殖再生医療学特別講義) スペシャリスト特別演習(生殖再生医療学特別演習) 研究推進特別実験(産業動物臨床応用学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		海野 年弘 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
専	教授	村瀬 哲磨 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(産業動物学基盤特別講義) 基盤特別演習(産業動物学基盤特別演習) 基盤特別実験(産業動物学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(生殖再生医療学特別講義) スペシャリスト特別演習(生殖再生医療学特別演習) 研究推進特別実験(産業動物臨床応用学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		海野 年弘 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
専	教授	村瀬 哲磨 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(産業動物学基盤特別講義) 基盤特別演習(産業動物学基盤特別演習) 基盤特別実験(産業動物学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(生殖再生医療学特別講義) スペシャリスト特別演習(生殖再生医療学特別演習) 研究推進特別実験(産業動物臨床応用学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		海野 年弘 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
専	教授	村瀬 哲磨 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(産業動物学基盤特別講義) 基盤特別演習(産業動物学基盤特別演習) 基盤特別実験(産業動物学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(生殖再生医療学特別講義) スペシャリスト特別演習(生殖再生医療学特別演習) 研究推進特別実験(産業動物臨床応用学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		海野 年弘 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		志水 泰武
		<平成31年4月> 博士(獣医学)
		研究科共通科目(生物情報解析学特論) 研究科共通科目(アカデミック・イングリッシュ) 研究科共通科目(学際領域特別演習) 基盤特別講義(神経科学基盤特別講義) 基盤特別演習(神経科学基盤特別演習) 基盤特別実験(神経科学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ スペシャリスト特別講義(創薬概論特別講義)※ スペシャリスト特別演習(電気生理学実験特別演習)※ 研究推進特別実験(動物組織薬理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		志水 泰武
		<平成31年4月> 博士(獣医学)
		研究科共通科目(生物情報解析学特論) 研究科共通科目(アカデミック・イングリッシュ) 研究科共通科目(学際領域特別演習) 基盤特別講義(神経科学基盤特別講義) 基盤特別演習(神経科学基盤特別演習) 基盤特別実験(神経科学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ スペシャリスト特別講義(創薬概論特別講義)※ スペシャリスト特別演習(電気生理学実験特別演習)※ 研究推進特別実験(動物組織薬理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		志水 泰武
		<平成31年4月> 博士(獣医学)
		研究科共通科目(生物情報解析学特論) 研究科共通科目(アカデミック・イングリッシュ) 研究科共通科目(学際領域特別演習) 基盤特別講義(神経科学基盤特別講義) 基盤特別演習(神経科学基盤特別演習) 基盤特別実験(神経科学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ スペシャリスト特別講義(創薬概論特別講義)※ スペシャリスト特別演習(電気生理学実験特別演習)※ 研究推進特別実験(動物組織薬理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		志水 泰武
		<平成31年4月> 博士(獣医学)
		研究科共通科目(生物情報解析学特論) 研究科共通科目(アカデミック・イングリッシュ) 研究科共通科目(学際領域特別演習) 基盤特別講義(神経科学基盤特別講義) 基盤特別演習(神経科学基盤特別演習) 基盤特別実験(神経科学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義I)※ スペシャリスト特別講義(創薬概論特別講義)※ スペシャリスト特別演習(電気生理学実験特別演習)※ 研究推進特別実験(動物組織薬理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	heart(心)特別演習/※ スペシャリスト特別講義 (野生動物管理学特別講義) スペシャリスト特別演習(個体数管理特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※ 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		齋藤 正一郎 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	准教授	基盤特別講義(神経科学基盤特別講義) 基盤特別演習(神経科学基盤特別演習) 基盤特別実験(神経科学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※ スペシャリスト特別講義 (神経系の形態学・分子病態学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(神経科学・神経症候学特別演習)※ 研究推進特別実験 (動物組織薬理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		松山 勇人 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	heart(心)特別演習/※ スペシャリスト特別講義 (野生動物管理学特別講義) スペシャリスト特別演習(個体数管理特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※ 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		齋藤 正一郎 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	准教授	基盤特別講義(神経科学基盤特別講義) 基盤特別演習(神経科学基盤特別演習) 基盤特別実験(神経科学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※ スペシャリスト特別講義 (神経系の形態学・分子病態学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(神経科学・神経症候学特別演習)※ 研究推進特別実験 (動物組織薬理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		松山 勇人 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	heart(心)特別演習/※ スペシャリスト特別講義 (野生動物管理学特別講義) スペシャリスト特別演習(個体数管理特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※ 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		齋藤 正一郎 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	教授	基盤特別講義(神経科学基盤特別講義) 基盤特別演習(神経科学基盤特別演習) 基盤特別実験(神経科学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※ スペシャリスト特別講義 (神経系の形態学・分子病態学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(神経科学・神経症候学特別演習)※ 研究推進特別実験 (動物組織薬理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		松山 勇人 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	heart(心)特別演習/※ スペシャリスト特別講義 (野生動物管理学特別講義) スペシャリスト特別演習(個体数管理特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※ 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		齋藤 正一郎 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	教授	基盤特別講義(神経科学基盤特別講義) 基盤特別演習(神経科学基盤特別演習) 基盤特別実験(神経科学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※ スペシャリスト特別講義 (神経系の形態学・分子病態学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(神経科学・神経症候学特別演習)※ 研究推進特別実験 (動物組織薬理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		松山 勇人 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	准教授	酒井 洋樹 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	准教授	神志那 弘明 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	准教授	酒井 洋樹 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	准教授	神志那 弘明 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	准教授	酒井 洋樹 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	教授	神志那 弘明 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	准教授	酒井 洋樹 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	教授	神志那 弘明 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
	専 准教授	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		基盤特別講義(獣医麻酔外科学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医麻酔外科学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医麻酔外科学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(神経系の形態学・分子病態学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(神経科学・神経症候学特別演習)※ 研究推進特別実験(獣医麻酔外科学研究推進特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		伊藤 直人
		<平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別講義) 基盤特別演習(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別演習) 基盤特別実験(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義I) ※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義II)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(ウイルス性人獣共通病原体と宿主(相互作用)特別講義)※ スペシャリスト特別演習(病原性ウイルス)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
	専 准教授	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		基盤特別講義(獣医麻酔外科学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医麻酔外科学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医麻酔外科学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(神経系の形態学・分子病態学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(神経科学・神経症候学特別演習)※ 研究推進特別実験(獣医麻酔外科学研究推進特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		伊藤 直人
		<平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別講義) 基盤特別演習(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別演習) 基盤特別実験(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義I) ※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義II)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(ウイルス性人獣共通病原体と宿主(相互作用)特別講義)※ スペシャリスト特別演習(病原性ウイルス)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
	専 准教授	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		基盤特別講義(獣医麻酔外科学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医麻酔外科学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医麻酔外科学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(神経系の形態学・分子病態学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(神経科学・神経症候学特別演習)※ 研究推進特別実験(獣医麻酔外科学研究推進特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		伊藤 直人
		<平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別講義) 基盤特別演習(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別演習) 基盤特別実験(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義I)※ ※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義II)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(ウイルス性人獣共通病原体と宿主(相互作用)特別講義)※ スペシャリスト特別演習(病原性ウイルス)

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
	専 准教授	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		基盤特別講義(獣医麻酔外科学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医麻酔外科学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医麻酔外科学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(神経系の形態学・分子病態学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(神経科学・神経症候学特別演習)※ 研究推進特別実験(獣医麻酔外科学研究推進特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		伊藤 直人
		<平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別講義) 基盤特別演習(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別演習) 基盤特別実験(ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義I)※ ※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義II)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(ウイルス性人獣共通病原体と宿主(相互作用)特別講義)※ スペシャリスト特別演習(病原性ウイルス)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	准教授	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 獣共通病原体と宿主(相互作用)特別講義 スペシャリスト特別演習(病原性ウイルス生態学特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※ 研究推進特別実験(病原性ウイルス生態学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		大屋 賢司 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専	准教授	基盤特別講義(病原微生物学基盤特別講義) 基盤特別演習(病原微生物学基盤特別演習) 基盤特別実験(病原微生物学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染症学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症学特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅰ)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト養成

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	准教授	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 獣共通病原体と宿主(相互作用)特別講義 スペシャリスト特別演習(病原性ウイルス生態学特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※ 研究推進特別実験(病原性ウイルス生態学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
専	准教授	基盤特別講義(病原微生物学基盤特別講義) 基盤特別演習(病原微生物学基盤特別演習) 基盤特別実験(病原微生物学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染症学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症学特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅰ)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト養成

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 ス生態学特別演習)※ ※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※ ※ 研究推進特別実験(病原性ウイルス生態学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習) スペシャリスト特別講義(病原性ウイルス生態学特別講義) ※ スペシャリスト特別講義(ウイルス性人獣共通病原体と宿主(相互作用)特別講義)
専	教授	基盤特別講義(病原微生物学基盤特別講義) 基盤特別演習(病原微生物学基盤特別演習) 基盤特別実験(病原微生物学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染症学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症学特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅰ)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト養成

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 ス生態学特別演習)※ ※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※ ※ 研究推進特別実験(病原性ウイルス生態学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習) スペシャリスト特別講義(病原性ウイルス生態学特別講義) ※ スペシャリスト特別講義(ウイルス性人獣共通病原体と宿主(相互作用)特別講義)
専	教授	基盤特別講義(病原微生物学基盤特別講義) 基盤特別演習(病原微生物学基盤特別演習) 基盤特別実験(病原微生物学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染症学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症学特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅰ)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト養成

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ 研究推進特別実験 (獣医感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		中川 敬介 <令和元年10月> 博士(獣医学)
専	准教授	基盤特別講義(病原微生物学基盤特別講義) 基盤特別演習(病原微生物学基盤特別演習) 基盤特別実験(病原微生物学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染症学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症学特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義I)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義II)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		中川 敬介 <令和元年10月> 博士(獣医学)
専	准教授	基盤特別講義(病原微生物学基盤特別講義) 基盤特別演習(病原微生物学基盤特別演習) 基盤特別実験(病原微生物学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染症学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症学特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義I)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義II)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> > 保有学位等
		担当授業科目名
		高島 康弘 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> > 保有学位等
		担当授業科目名
		高島 康弘 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> > 保有学位等
		担当授業科目名
		スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別演習) ※ 研究推進特別実験 (獣医感染症学特別 実験) 演習科目(プログレ スセミナーI) 演習科目(プログレ スセミナーII) アドバンスト教育科 目(国内特別実践演 習I) アドバンスト教育科 目(国内特別実践演 習II) アドバンスト教育科 目(海外特別実践演 習I) アドバンスト教育科 目(海外特別実践演 習II) アドバンスト教育科 目(ジョイントワー クショップ演習)
		高島 康弘 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> > 保有学位等
		担当授業科目名
		スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別演習) ※ 研究推進特別実験 (獣医感染症学特別 実験) 演習科目(プログレ スセミナーI) 演習科目(プログレ スセミナーII) アドバンスト教育科 目(国内特別実践演 習I) アドバンスト教育科 目(国内特別実践演 習II) アドバンスト教育科 目(海外特別実践演 習I) アドバンスト教育科 目(海外特別実践演 習II) アドバンスト教育科 目(ジョイントワー クショップ演習)
		正谷 達磨 <令和2年12月> 博士(獣医学)
専	准教授	ウイルス性人獣共通 感染症学基盤特別講 義、 ウイルス性人獣共通 感染症学基盤特別演 習 ウイルス性人獣共通 感染症学基盤特別実 験 病原性ウイルス生態 学特別演習 病原性ウイルス生態 学特別実験 病原性ウイルス生態 学特別講義 プログレスセミナー I プログレスセミナー II 国内特別実践演習I 国内特別実践演習II 海外特別実践演習I 海外特別実践演習II ジョイントワー クショップ演習
		高島 康弘 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		日(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
	高須 正規	<平成31年4月> 博士(獣医学)
専	准教授	基盤特別講義(産業動物学基盤特別講義) 基盤特別演習(産業動物学基盤特別演習) 基盤特別実験(産業動物学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(トランスレーショナルリサーチ特別講義) スペシャリスト特別演習(トランスレーショナルリサーチ特別演習) 研究推進特別実験(産業動物臨床応用学特別実験) 演習科目(プログ्रेसセミナーⅠ) 演習科目(プログ्रेसセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
	西飯 直仁	<平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		日(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
	高須 正規	<平成31年4月> 博士(獣医学)
専	准教授	基盤特別講義(産業動物学基盤特別講義) 基盤特別演習(産業動物学基盤特別演習) 基盤特別実験(産業動物学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(トランスレーショナルリサーチ特別講義) スペシャリスト特別演習(トランスレーショナルリサーチ特別演習) 研究推進特別実験(産業動物臨床応用学特別実験) 演習科目(プログ्रेसセミナーⅠ) 演習科目(プログ्रेसセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
	西飯 直仁	<平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		日(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
	高須 正規	<平成31年4月> 博士(獣医学)
専	准教授	基盤特別講義(産業動物学基盤特別講義) 基盤特別演習(産業動物学基盤特別演習) 基盤特別実験(産業動物学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(トランスレーショナルリサーチ特別講義) スペシャリスト特別演習(トランスレーショナルリサーチ特別演習) 研究推進特別実験(産業動物臨床応用学特別実験) 演習科目(プログ्रेसセミナーⅠ) 演習科目(プログ्रेसセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
	西飯 直仁	<平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		日(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
	高須 正規	<平成31年4月> 博士(獣医学)
専	准教授	基盤特別講義(産業動物学基盤特別講義) 基盤特別演習(産業動物学基盤特別演習) 基盤特別実験(産業動物学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(トランスレーショナルリサーチ特別講義) スペシャリスト特別演習(トランスレーショナルリサーチ特別演習) 研究推進特別実験(産業動物臨床応用学特別実験) 演習科目(プログ्रेसセミナーⅠ) 演習科目(プログ्रेसセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
	西飯 直仁	<平成31年4月> 博士(獣医学)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)

<鳥取大学>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	教授	日笠 喜朗 <平成31年4月> 獣医学博士 研究科共通科目(研究倫理・知的財産特論) 基盤特別講義(獣医診断治療学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医診断治療学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医診断治療学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目 (難病治療・創薬特別講義II)※ スペシャリスト特別講義(獣医内科診断治療学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医内科診断治療学特別演習) 研究推進特別実験(獣医内科診断治療学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		保坂 善真

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	教授	日笠 喜朗 <平成31年4月> 獣医学博士 研究科共通科目(研究倫理・知的財産特論) 基盤特別講義(獣医診断治療学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医診断治療学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医診断治療学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目 (難病治療・創薬特別講義II)※ スペシャリスト特別講義(獣医内科診断治療学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医内科診断治療学特別演習) 研究推進特別実験(獣医内科診断治療学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		保坂 善真

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	教授	日笠 喜朗 <平成31年4月> 獣医学博士 研究科共通科目(研究倫理・知的財産特論) 基盤特別講義(獣医診断治療学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医診断治療学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医診断治療学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目 (難病治療・創薬特別講義II)※ スペシャリスト特別講義(獣医内科診断治療学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医内科診断治療学特別演習) 研究推進特別実験(獣医内科診断治療学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		保坂 善真

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専任	教授	日笠 喜朗 <平成31年4月> 獣医学博士 研究科共通科目(研究倫理・知的財産特論) 基盤特別講義(獣医診断治療学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医診断治療学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医診断治療学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目 (難病治療・創薬特別講義II)※ スペシャリスト特別講義(獣医内科診断治療学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医内科診断治療学特別演習) 研究推進特別実験(獣医内科診断治療学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		保坂 善真

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		基盤特別実験(獣医感染病理学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅰ) ※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(獣医感染実験病理学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(獣医感染実験病理学特別演習) 研究推進特別実験(獣医神経病理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		伊藤 壽啓 <平成31年4月> 獣医学博士
専任	教授	基盤特別講義(鳥類感染症学基盤特別講義)
		基盤特別演習(鳥類感染症学基盤特別演習)
		基盤特別実験(鳥類感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(インフルエンザ感染制御学(リスクアナリシス)特別講義) スペシャリスト特別演習(鳥インフルエンザの確定診断特別演習)※ 研究推進特別実験(鳥類感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレ
		伊藤 壽啓 <平成31年4月> 獣医学博士

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		基盤特別実験(獣医感染病理学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅰ) ※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(獣医感染実験病理学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(獣医感染実験病理学特別演習) 研究推進特別実験(獣医神経病理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		伊藤 壽啓 <平成31年4月> 獣医学博士
専任	教授	基盤特別講義(鳥類感染症学基盤特別講義)
		基盤特別演習(鳥類感染症学基盤特別演習)
		基盤特別実験(鳥類感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(インフルエンザ感染制御学(リスクアナリシス)特別講義) スペシャリスト特別演習(鳥インフルエンザの確定診断特別演習)※ 研究推進特別実験(鳥類感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレ
		伊藤 壽啓 <平成31年4月> 獣医学博士

【令和2年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		基盤特別実験(獣医感染病理学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅰ) ※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(獣医感染実験病理学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(獣医感染実験病理学特別演習) 研究推進特別実験(獣医神経病理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
		伊藤 壽啓 <平成31年4月> 獣医学博士
専任	教授	基盤特別講義(鳥類感染症学基盤特別講義)
		基盤特別演習(鳥類感染症学基盤特別演習)
		基盤特別実験(鳥類感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(インフルエンザ感染制御学(リスクアナリシス)特別講義) スペシャリスト特別演習(鳥インフルエンザの確定診断特別演習)※ 研究推進特別実験(鳥類感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレ
		伊藤 壽啓 <平成31年4月> 獣医学博士

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		基盤特別実験(獣医感染病理学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅰ) ※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(One Health特別演習)※ スペシャリスト特別講義(獣医感染実験病理学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(獣医感染実験病理学特別演習) 研究推進特別実験(獣医神経病理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレ
		伊藤 壽啓 <平成31年4月> 獣医学博士
専任	教授	基盤特別講義(鳥類感染症学基盤特別講義)
		基盤特別演習(鳥類感染症学基盤特別演習)
		基盤特別実験(鳥類感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(インフルエンザ感染制御学(リスクアナリシス)特別講義) スペシャリスト特別演習(鳥インフルエンザの確定診断特別演習)※ 研究推進特別実験(鳥類感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレ
		伊藤 壽啓 <平成31年4月> 獣医学博士

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		研究科共通科目(学際領域特別演習) 基盤特別講義(鳥類感染症学基盤特別講義) 基盤特別演習(鳥類感染症学基盤特別演習) 基盤特別実験(鳥類感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(高病原性鳥インフルエンザ特別講義) スペシャリスト特別演習(高病原性鳥インフルエンザ特別演習) 研究推進特別実験(鳥類感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
専任	教授	岡本 芳晴
		<平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(難病診断治療学基盤特別講義) 基盤特別演習(難病診断治療学基盤特別演習) 基盤特別実験(難病診断治療学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト特別講義(腫瘍治療学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(腫瘍治療学特別演習)※ 研究推進特別実験(難病診断治療学特

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		研究科共通科目(学際領域特別演習) 基盤特別講義(鳥類感染症学基盤特別講義) 基盤特別演習(鳥類感染症学基盤特別演習) 基盤特別実験(鳥類感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(高病原性鳥インフルエンザ特別講義) スペシャリスト特別演習(高病原性鳥インフルエンザ特別演習) 研究推進特別実験(鳥類感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
専任	教授	岡本 芳晴
		<平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(難病診断治療学基盤特別講義) 基盤特別演習(難病診断治療学基盤特別演習) 基盤特別実験(難病診断治療学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト特別講義(腫瘍治療学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(腫瘍治療学特別演習)※ 研究推進特別実験(難病診断治療学特

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		研究科共通科目(学際領域特別演習) 基盤特別講義(鳥類感染症学基盤特別講義) 基盤特別演習(鳥類感染症学基盤特別演習) 基盤特別実験(鳥類感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(高病原性鳥インフルエンザ特別講義) スペシャリスト特別演習(高病原性鳥インフルエンザ特別演習) 研究推進特別実験(鳥類感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
専任	教授	岡本 芳晴
		<平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(難病診断治療学基盤特別講義) 基盤特別演習(難病診断治療学基盤特別演習) 基盤特別実験(難病診断治療学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト特別講義(腫瘍治療学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(腫瘍治療学特別演習)※ 研究推進特別実験(難病診断治療学特

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	教授	<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		研究科共通科目(学際領域特別演習) 基盤特別講義(鳥類感染症学基盤特別講義) 基盤特別演習(鳥類感染症学基盤特別演習) 基盤特別実験(鳥類感染症学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(高病原性鳥インフルエンザ特別講義) スペシャリスト特別演習(高病原性鳥インフルエンザ特別演習) 研究推進特別実験(鳥類感染症学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーⅠ) 演習科目(プログレスセミナーⅡ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅰ) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習Ⅱ) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
専任	教授	岡本 芳晴
		<平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(難病診断治療学基盤特別講義) 基盤特別演習(難病診断治療学基盤特別演習) 基盤特別実験(難病診断治療学基盤特別実験) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別講義Ⅱ)※ スペシャリスト特別講義(腫瘍治療学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(腫瘍治療学特別演習)※ 研究推進特別実験(難病診断治療学特

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		菱沼 貢 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	教授	竹内 崇 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		菱沼 貢 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	教授	竹内 崇 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		菱沼 貢 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	教授	竹内 崇 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		菱沼 貢 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	教授	竹内 崇 <平成31年4月> 博士(獣医学)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		演習(感染症対策に関するOne Health特別演習)※ 研究推進特別実験(微生物学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
専任	准教授	寸田 祐嗣 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(獣医感染病理学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医感染病理学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医感染病理学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染実験病理学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(獣医感染実験病理学特別演習) 研究推進特別実験(獣医神経病理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
専任	准教授	金 京純 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(獣医寄生虫病学基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義II)※ スペシャリスト特別講義(獣医寄生虫病学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医寄生虫病学特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		伊藤 啓史 <平成31年4月>

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		演習(感染症対策に関するOne Health特別演習)※ 研究推進特別実験(微生物学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
専任	准教授	寸田 祐嗣 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(獣医感染病理学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医感染病理学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医感染病理学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染実験病理学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(獣医感染実験病理学特別演習) 研究推進特別実験(獣医神経病理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
専任	准教授	金 京純 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(獣医寄生虫病学基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義II)※ スペシャリスト特別講義(獣医寄生虫病学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医寄生虫病学特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		伊藤 啓史 <平成31年4月>

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		演習(感染症対策に関するOne Health特別演習)※ 研究推進特別実験(微生物学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
専任	准教授	寸田 祐嗣 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(獣医感染病理学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医感染病理学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医感染病理学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染実験病理学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(獣医感染実験病理学特別演習) 研究推進特別実験(獣医神経病理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
専任	准教授	金 京純 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(獣医寄生虫病学基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義II)※ スペシャリスト特別講義(獣医寄生虫病学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医寄生虫病学特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		伊藤 啓史 <平成31年4月>

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		演習(感染症対策に関するOne Health特別演習)※ 研究推進特別実験(微生物学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
専任	准教授	寸田 祐嗣 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(獣医感染病理学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医感染病理学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医感染病理学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染実験病理学特別講義)※ スペシャリスト特別演習(獣医感染実験病理学特別演習) 研究推進特別実験(獣医神経病理学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習I) アドバンスト教育科目(国内特別実践演習II) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習I) アドバンスト教育科目(海外特別実践演習II) アドバンスト教育科目(ジョイントワークショップ演習)
専任	准教授	金 京純 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(獣医寄生虫病学基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義II)※ スペシャリスト特別講義(獣医寄生虫病学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医寄生虫病学特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		伊藤 啓史 <平成31年4月>

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	准教授	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 博士(獣医学)
		基盤特別講義(ウイルス およびプリオンによる人獣共通感染症基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(ウイルス性人獣共通感染症の発生、診断と対策特別講義) スペシャリスト特別演習(鳥インフルエンザの確定診断特別演習)※ 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		富岡(寸田) 幸子 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	准教授	基盤特別講義(実験動物疾病学基盤特別講義) スペシャリスト特別講義(実験動物医学専門医養成特別講義) スペシャリスト特別講義(疾患モデル動物学特別講義) スペシャリスト特別演習(実験動物医学専門医養成特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		富岡(寸田) 幸子 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(動物感染症予防学基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義II)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(動物感染症予防医薬品学特別講義) スペシャリスト特別演習(高病原性鳥インフルエンザ特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		原田 和記

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	准教授	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 博士(獣医学)
		基盤特別講義(ウイルス およびプリオンによる人獣共通感染症基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(ウイルス性人獣共通感染症の発生、診断と対策特別講義) スペシャリスト特別演習(鳥インフルエンザの確定診断特別演習)※ 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		富岡(寸田) 幸子 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	准教授	基盤特別講義(実験動物疾病学基盤特別講義) スペシャリスト特別講義(実験動物医学専門医養成特別講義) スペシャリスト特別講義(疾患モデル動物学特別講義) スペシャリスト特別演習(実験動物医学専門医養成特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		富岡(寸田) 幸子 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(動物感染症予防学基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義II)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(動物感染症予防医薬品学特別講義) スペシャリスト特別演習(高病原性鳥インフルエンザ特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		原田 和記

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	准教授	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 博士(獣医学)
		基盤特別講義(ウイルス およびプリオンによる人獣共通感染症基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(ウイルス性人獣共通感染症の発生、診断と対策特別講義) スペシャリスト特別演習(鳥インフルエンザの確定診断特別演習)※ 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		富岡(寸田) 幸子 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	准教授	基盤特別講義(実験動物疾病学基盤特別講義) スペシャリスト特別講義(実験動物医学専門医養成特別講義) スペシャリスト特別講義(疾患モデル動物学特別講義) スペシャリスト特別演習(実験動物医学専門医養成特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		富岡(寸田) 幸子 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(動物感染症予防学基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義II)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(動物感染症予防医薬品学特別講義) スペシャリスト特別演習(高病原性鳥インフルエンザ特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		原田 和記

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	准教授	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 博士(獣医学)
		基盤特別講義(ウイルス およびプリオンによる人獣共通感染症基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(ウイルス性人獣共通感染症の発生、診断と対策特別講義) スペシャリスト特別演習(鳥インフルエンザの確定診断特別演習)※ 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		富岡(寸田) 幸子 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	准教授	基盤特別講義(実験動物疾病学基盤特別講義) スペシャリスト特別講義(実験動物医学専門医養成特別講義) スペシャリスト特別講義(疾患モデル動物学特別講義) スペシャリスト特別演習(実験動物医学専門医養成特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		富岡(寸田) 幸子 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(動物感染症予防学基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別講義II)※ スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(動物感染症予防医薬品学特別講義) スペシャリスト特別演習(高病原性鳥インフルエンザ特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
		原田 和記

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		伊藤 典彦 <平成31年4月> 博士(医学)
専任	准教授	スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別 講義(獣医眼科学特 別講義) 演習科目(プログ レスセミナーI) 演習科目(プログ レスセミナーII)
		東 和生 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	准教授	スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別演習) ※ 演習科目(プログ レスセミナーI) 演習科目(プログ レスセミナーII)
		柄 武志 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	准教授	スペシャリスト特別 講義(牛病学特別 講義) スペシャリスト特別 演習(牛病学特別 演習) スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別演習) ※ 演習科目(プログ レスセミナーI) 演習科目(プログ レスセミナーII)
		樋口 雅司 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(細胞 分化制御学基盤特別

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		伊藤 典彦 <平成31年4月> 博士(医学)
専任	准教授	スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別 講義(獣医眼科学特 別講義) 演習科目(プログ レスセミナーI) 演習科目(プログ レスセミナーII)
		東 和生 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	准教授	スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別演習) ※ 演習科目(プログ レスセミナーI) 演習科目(プログ レスセミナーII)
		柄 武志 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	准教授	スペシャリスト特別 講義(牛病学特別 講義) スペシャリスト特別 演習(牛病学特別 演習) スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別演習) ※ 演習科目(プログ レスセミナーI) 演習科目(プログ レスセミナーII)
		樋口 雅司 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(細胞 分化制御学基盤特別

【令和2年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		伊藤 典彦 <平成31年4月> 博士(医学)
専任	准教授	スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別 講義(獣医眼科学特 別講義) 演習科目(プログ レスセミナーI) 演習科目(プログ レスセミナーII)
		東 和生 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	准教授	スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別演習) ※ 演習科目(プログ レスセミナーI) 演習科目(プログ レスセミナーII)
		柄 武志 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	准教授	スペシャリスト特別 講義(牛病学特別 講義) スペシャリスト特別 演習(牛病学特別 演習) スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別演習) ※ 演習科目(プログ レスセミナーI) 演習科目(プログ レスセミナーII)
		樋口 雅司 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(細胞 分化制御学基盤特別

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
		伊藤 典彦 <平成31年4月> 博士(医学)
専任	准教授	スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別 講義(獣医眼科学特 別講義) 演習科目(プログ レスセミナーI) 演習科目(プログ レスセミナーII)
		東 和生 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		柄 武志 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	准教授	スペシャリスト特別 講義(牛病学特別 講義) スペシャリスト特別 演習(牛病学特別 演習) スペシャリスト養成 コア科目(難病治 療・創薬特別演習) ※ 演習科目(プログ レスセミナーI) 演習科目(プログ レスセミナーII)
		樋口 雅司 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		基盤特別講義(細胞 分化制御学基盤特別

【認可時又は届出時】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	講師	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 講義) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(遺伝情報制御学特別講義) スペシャリスト特別演習(遺伝情報制御学特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
専任	講師	曾田 公輔 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	講師	基盤特別講義(動物感染症学基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(感染症の制圧特別講義) スペシャリスト特別演習(鳥インフルエンザの確定診断特別演習) ※ 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
専任	講師	井口 愛子 <令和2年4月> 博士(獣医学)
専任	講師	基盤特別講義(獣医診断治療学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医診断治療学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医診断治療学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染症内科学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症内科学特別演習) 研究推進特別実験(獣医内科診断治療学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
兼任	講師	辻野 久美子 <平成31年4月> 博士(医学)
兼任	講師	スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別演習(獣医内科診断治療学特別演習)
		西村 亮

【令和元年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	講師	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 講義) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(遺伝情報制御学特別講義) スペシャリスト特別演習(遺伝情報制御学特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
専任	講師	曾田 公輔 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	講師	基盤特別講義(動物感染症学基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(感染症の制圧特別講義) スペシャリスト特別演習(鳥インフルエンザの確定診断特別演習) ※ 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
専任	講師	井口 愛子 <令和2年4月> 博士(獣医学)
専任	講師	基盤特別講義(獣医診断治療学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医診断治療学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医診断治療学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染症内科学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症内科学特別演習) 研究推進特別実験(獣医内科診断治療学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
兼任	講師	辻野 久美子 <平成31年4月> 博士(医学)
兼任	講師	スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別演習(獣医内科診断治療学特別演習)
		西村 亮

【令和2年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	講師	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 講義) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(遺伝情報制御学特別講義) スペシャリスト特別演習(遺伝情報制御学特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
専任	講師	曾田 公輔 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	講師	基盤特別講義(動物感染症学基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(感染症の制圧特別講義) スペシャリスト特別演習(鳥インフルエンザの確定診断特別演習) ※ 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
専任	講師	井口 愛子 <令和2年4月> 博士(獣医学)
専任	講師	基盤特別講義(獣医診断治療学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医診断治療学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医診断治療学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染症内科学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症内科学特別演習) 研究推進特別実験(獣医内科診断治療学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
兼任	講師	辻野 久美子 <平成31年4月> 博士(医学)
兼任	講師	スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別演習(獣医内科診断治療学特別演習)
		西村 亮

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		氏名 (年齢)
専任	准教授	<就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名 講義) スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別講義(遺伝情報制御学特別講義) スペシャリスト特別演習(遺伝情報制御学特別演習) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
専任	准教授	曾田 公輔 <平成31年4月> 博士(獣医学)
専任	准教授	基盤特別講義(動物感染症学基盤特別講義) スペシャリスト養成コア科目(家畜衛生・公衆衛生特別演習) スペシャリスト特別講義(感染症の制圧特別講義) スペシャリスト特別演習(鳥インフルエンザの確定診断特別演習) ※ 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
専任	准教授	井口 愛子 <令和2年4月> 博士(獣医学)
専任	准教授	基盤特別講義(獣医診断治療学基盤特別講義) 基盤特別演習(獣医診断治療学基盤特別演習) 基盤特別実験(獣医診断治療学基盤特別実験) スペシャリスト特別講義(獣医感染症内科学特別講義) スペシャリスト特別演習(獣医感染症内科学特別演習) 研究推進特別実験(獣医内科診断治療学特別実験) 演習科目(プログレスセミナーI) 演習科目(プログレスセミナーII)
兼任	講師	辻野 久美子 <平成31年4月> 博士(医学)
兼任	講師	スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習) ※ スペシャリスト特別演習(獣医内科診断治療学特別演習)
		西村 亮

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	<平成31年4月> 博士(農学)
		スペシャリスト特別演習(獣医繁殖学特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※
兼任	助教	村端 悠介 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※
兼任	助教	山下 真路 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		スペシャリスト特別演習(画像診断学特別演習)※

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	<平成31年4月> 博士(農学)
		スペシャリスト特別演習(獣医繁殖学特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※
兼任	助教	村端 悠介 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※
兼任	助教	山下 真路 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		スペシャリスト特別演習(画像診断学特別演習)※

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	<平成31年4月> 博士(農学)
		スペシャリスト特別演習(獣医繁殖学特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※
兼任	助教	村端 悠介 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※
兼任	助教	山下 真路 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		スペシャリスト特別演習(画像診断学特別演習)※

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	<平成31年4月> 博士(農学)
		スペシャリスト特別演習(獣医繁殖学特別演習)※ スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※
兼任	准教授	村端 悠介 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		スペシャリスト養成コア科目(難病治療・創薬特別演習)※
兼任	助教	山下 真路 <平成31年4月> 博士(獣医学)
		スペシャリスト特別演習(画像診断学特別演習)※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 ・ 構成大学毎に記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

<岐阜大学>

【令和元年度】

- ・平成30年10月31日付け大屋賢司准教授退職により、令和元年5月1日付けで後任を採用予定。
- ・平成31年3月31日付け山添和明教授退職により、令和元年9月から専任教員採用予定で公募中。
- ・令和元年5月1日付けで中川敬介准教授を採用。(令和元年9月A C教員審査済)(大屋賢司准教授の後任)
- ・渡邊一弘准教授が令和元年8月1日付けで教授に昇任。(令和元年7月A C教員審査済)(山添和明教授の後任)
- ・令和2年3月31日付け杉山誠教授退職。

【令和2年度】

- ・齋藤正一准教授が令和2年4月1日付けで教授に昇任。(令和2年2月A C教員審査済)
- ・酒井洋樹准教授が令和2年4月1日付けで教授に昇任。(令和2年2月A C教員審査済)
- ・伊藤直人准教授が令和2年4月1日付けで教授に昇任。(令和2年3月A C教員審査済)(杉山誠教授の後任)
- また、杉山教授退職の理由により、担当授業科目を一部変更。
- ・令和2年12月1日付けで正谷達磨准教授を採用。(令和3年1月A C教員審査済)(伊藤教授昇任に伴う後任)

【令和3年度】

特になし

<鳥取大学>

【令和元年度】

特になし

【令和2年度】

寸田祐嗣准教授、井口愛子講師について令和元年11月にA C教員審査済み。

【令和3年度】

- ・令和3年3月31日付け東和生准教授退職。
- ・樋口雅司講師が令和3年4月1日付けで准教授に昇任。(令和3年1月A C教員審査済)
- ・曾田公輔講師が令和3年4月1日付けで准教授に昇任。(令和3年1月A C教員審査済)
- ・西村亮助教が令和3年4月1日付けで准教授に昇任。(兼任)
- ・村端悠介助教が令和3年4月1日付けで准教授に昇任。(兼任)

- (注)
- ・ 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。**A C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ 構成大学ごとに記入してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

大学名	完成年度時における設置基準上の必要専任教員数		完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
	研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	
岐阜大学	4 名	3 名	2 名
鳥取大学	4 名	3 名	2 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学院】

大学名	設置時の計画						現在（報告時）の状況					
	教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
岐阜大学	13	13	0	0	26	0	15	10	0	0	25	0
	(12)	(12)	(0)	(0)	(24)	(0)						
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
	24	2	0				22	3	0			
(24)	(2)	(0)	/			(24)	(2)	(0)	/			
12	14	2				0	28	0				12
鳥取大学	(12)	(14)	(2)	(0)	(28)	(0)						
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
	20	8	0				22	6	0			
	(20)	(8)	(0)	/			(20)	(8)	(0)	/		
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画					
大学名	教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
岐阜大学	15	10	0	0	25	0	15	10	0	0	25	0
	[2]	[Δ3]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[2]	[Δ3]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
	22	3	0				22	3	0			
[Δ2]	[1]	[0]	/			[Δ2]	[1]	[0]	/			
12	15	1				0	28	0				12
鳥取大学	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]
	研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		
	22	6	0				22	6	0			
	[2]	[Δ2]	[0]	/			[2]	[Δ2]	[0]	/		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を卒業済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

(2) - ③ 年齢構成

大学名	年齢構成		
	定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 （B））の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 （C））の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
岐阜大学	65 歳	0 名	0 名
鳥取大学	65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{53}{54} = \boxed{98.14} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{53} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
岐阜大学	1	教授	山添 和明	H31.3	選択	小動物外科学基盤特別講義	①	H31.3.31退職のため就任辞退（元）		
					選択	難病治療・創薬特別講義Ⅰ	①			
					選択	獣医外科・麻酔学特別講義	①			
					選択	獣医外科・麻酔学特別演習	①			
					選択	プログレスセミナーⅠ	①			
					選択	プログレスセミナーⅡ	①			
	2	准教授	大屋 賢司	H30.10	選択	病原微生物学基盤特別講義	①		H30.10.31退職のため就任辞退（元）	
					選択	病原微生物学基盤特別演習	①			
					選択	病原微生物学基盤特別実験	①			
					選択	獣医感染症学特別講義	①			
					選択	獣医感染症学特別演習	①			
					選択	One Health特別講義Ⅰ	①			
					選択	One Health特別講義Ⅱ	①			
					選択	One Health特別演習	①			
					選択	難病治療・創薬特別演習	①			
					選択	獣医感染症学特別実験	①			
					選択	プログレスセミナーⅠ	①			
					選択	プログレスセミナーⅡ	①			
					選択	国内特別実践演習Ⅰ	①			
					選択	国内特別実践演習Ⅱ	①			
選択	海外特別実践演習Ⅰ	①								
選択	海外特別実践演習Ⅱ	①								
選択	ジョイントワークショップ演習	①								
鳥取大学										
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	21	科目	選択	21	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	21	科目	計	21	科目	計	0	科目

(注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
					選択	“基盤特別講義（ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別	①	
					選択	基盤特別演習（ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別	①	
					選択	基盤特別実験（ウイルス性人獣共通感染症学基盤特別	①	
					選択	スペシャリスト養成コア科目（One Health特別演習）	①	
					選択	スペシャリスト特別講義（病原性ウイルス生態学特別	①	
					選択	スペシャリスト特別演習（病原性ウイルス生態学特別	①	

岐阜大学	1	教授	杉山 誠	R2.3	選択	研究推進特別実験 (病原性ウイルス 生態学特別実験)	①	R2.4.1付け東海国立大学機構理事に就任のため(2)		
					選択	演習科目(プログ レスセミナーⅠ)	①			
					選択	演習科目(プログ レスセミナーⅡ)	①			
					選択	アドバンスト教育 科目(国内特別実践 演習Ⅰ)	①			
					選択	アドバンスト教育 科目(国内特別実践 演習Ⅱ)	①			
					選択	アドバンスト教育 科目(海外特別実践 演習Ⅰ)	①			
					選択	アドバンスト教育 科目(海外特別実践 演習Ⅱ)	①			
					選択	アドバンスト教育 科目(ジョイント ワークショップ演	①			
鳥取大学	1	准教授	東 和生	R3.3	選択	難病治療・創薬特別演習	①	R3.3.31退職のため(3)		
					選択	プログレスセミナーⅠ	①			
					選択	プログレスセミナーⅡ	①			
合計(F)				後任補充状況の集計(G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	17	科目	選択	17	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	17	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)				後任補充状況の集計(E)+(G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	38	科目	選択	38	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	38	科目	計	38	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{54} = \boxed{7.4} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 全構成大学の合計値で計算してください。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

大学名	番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
岐阜大学			該当なし				

鳥取大学		該当なし								
	合計				後任補充状況の集計					
	辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
	0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

岐阜大学
就任辞退の教員が担当予定であった授業科目については、専任教員が担当するため、学生の履修に影響はない。
学生へは、ガイダンスの際、教員から説明し、周知した。

鳥取大学
辞任の専任教員の担当科目については、他の専任教員が担当するため、学生の履修に影響はない。
学生へは、各授業科目の担当教員を示した資料（変更後）を配布し周知した。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
認 可 時 (平成30年)	<p>獣医学教育研究開発推進センターに、「高度獣医学教育コンソーシアム(案)」におけるオーガナイザー機能を持たせることについて、各構成校(帯広畜産大学、岩手大学、東京農工大学、山口大学、鹿児島大学)の了解を得ているとのことだが、引き続き、構成校との円滑な教育連携が推進されるよう、構成校に対する丁寧な説明を行うとともに、広く関係者の了解を得て進めていくことが望ましい。</p>	<p>助言事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度獣医学教育コンソーシアム形成について、獣医学教育研究開発推進センターを中心に検討するとともに、岐阜大学と鳥取大学間の共同獣医学運営委員会および共同獣医学専攻会議において協議した。 ・令和2年度は、学際領域特別演習の開講に伴い、東の連獣構成校である岩手大学および西の連獣構成校である鹿児島大学より講師を招聘し、特別講演を開催した。 ・山口大学により開催されていたインドネシアでの国際シンポジウム(Association of Japan-Indonesia Veterinary Education)に、共同獣医学研究科として令和2年度も参加し、連携教育および留学生確保に関する協議を行った。 ・さらに令和2年度は、獣医系大学院が連携して教育研究活動を推進し、高度獣医学教育コンソーシアムを形成するための協力体制を構築することを目的として、「獣医系大学院連携協議会」を設置し、今後の学生交流や講師の相互派遣等について協議した。 	<p>履行済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「獣医系大学院連携協議会」を中心として、東西の連獣構成校との講演、シンポジウムの開催、学位論文審査などの連携について意見交換を継続して実施し、更なる教育連携を模索する。 ・学際領域特別演習では令和3年度も連獣構成校からの講師招聘を計画している。
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

<岐阜大学>

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

<鳥取大学>

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<岐阜大学>

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 岐阜大学大学院共同獣医学研究科委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 毎月第4水曜日開催。教員の3分の2以上が参加。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>一 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項 二 学位の授与に関する事項 三 中期計画及び年度計画に関する事項（本法人の経営に関するものを除く。） 四 研究科長候補者の推薦に関する事項 五 教育職員の教育研究業績の審査に関する事項 六 教育研究戦略、教育研究方法及び教育研究組織に関する事項 七 教育課程の編成に関する事項 八 学生の身分に関する事項 九 学生の修学支援に関する事項 十 予算配分及び決算に関する事項 十一 その他教育、研究及び業務に関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 研究科共通科目（学際領域特別演習、研究倫理・知的財産特論）の授業評価</p> <p>b 実施方法 3/18開催の共同獣医学研究科専攻会議終了後に引続き実施（遠隔）</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 鳥取大学及び岐阜大学の教職員約50名が参加。</p>

- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
前回の遠隔開催によるメリット・デメリットを確認し、次の開催方法等を改善した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
学際領域特別演習等終了後に実施(令和2年は9月)
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- ・研究科委員会等でアンケート結果を報告
 - ・HPに結果を公開

<鳥取大学>

① 実施体制

- a 委員会の設置状況
共同獣医学科を担当する教員は全て農学部を母体とする農学系部門に所属しており、農学部においてファカルティ・ディベロップメント委員会(規則は別紙のとおり)を設置している。
- b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)
2020年7月29日、9月17日、10月26日、11月27日、12月21日、2021年2月8日～9日 計6回実施。
各回とも5名の委員出席。
- c 委員会の審議事項等
- ・授業改善のための基本方針及び実施体制に関する事項
 - ・教授方法等の改善のための支援に関する事項
 - ・FDの推進・啓発を目的とした講演会及び教職員の研修等に関する事項
 - ・その他FDに関し必要な事項

② 実施状況

- a 実施内容
入試制度研究セミナー、全学教員FD研修会、ダイバーシティセミナー、研究倫理セミナー、全学FD研修会
- b 実施方法
セミナー、研修会、講演会
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
2020年9月4日、9月24日、11月4日～11月30日、12月9日～3月31日、12月18日
FD、SD研修等については、農学部及び教育支援・国際交流推進機構等が実施するものに参加。すべての教員が、上記セミナー、研修会等に1回以上参加している。
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
実施結果を踏まえ、各教員が授業の質及び修学環境の向上に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
研究科共通科目「学際領域特別演習」の授業評価アンケートを実施した。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
会議等の場で教員に配布・報告した。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<岐阜大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和元年度に入学した第1期生に対し、1年次に開設される研究科共通科目を実施し、本研究科の教育課程における特色である、各専門分野の研究者および各スペシャリスト養成の基盤となる研究倫理及び知的財産の管理を教授するとともに、学術情報収集能力、語学力、プレゼンテーション能力等を涵養した。特に両大学院の学生が鳥取大学において開催した対面方式のセミナー「学際領域特別演習」では効果的に多面的な思考能力が醸成されたと考えられる。
遠隔教育システムを活用したeラーニングコンテンツやWeb会議システムによる遠隔教育を構築し、定期的な通学が困難な社会人学生にも対応できる授業を実施した。
本研究科の設置の趣旨・目的に沿って計画通りに進捗している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
未定

b 公表方法
本研究科のホームページ上に公開することとする。

③ 認証評価を受ける計画

令和7年度に認証機関の評価を受審予定（令和元年度に受審済みであり、特段の指摘事項なし。）

<鳥取大学>

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

計画通りに実施している。引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画通り実施することとしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
公表時期は未定

b 公表方法
本研究科のホームページ上に公開することとする。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に評価機関の評価を受審予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

<岐阜大学>

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

◡

◀ aで「有」の場合▶

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

◀ aで公表「無」の場合▶

d 公表しない理由 []

<鳥取大学>

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

◀ aで「有」の場合▶

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

◀ aで公表「無」の場合▶

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。